

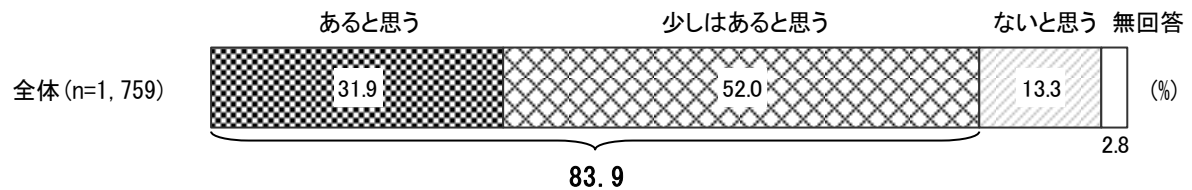
6 障害者差別について

（１）障害を理由とする差別や偏見の有無

◇『あると思う（計）』は８割台半ば

問10 あなたは、現在の社会の中には、障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。（○は１つ）

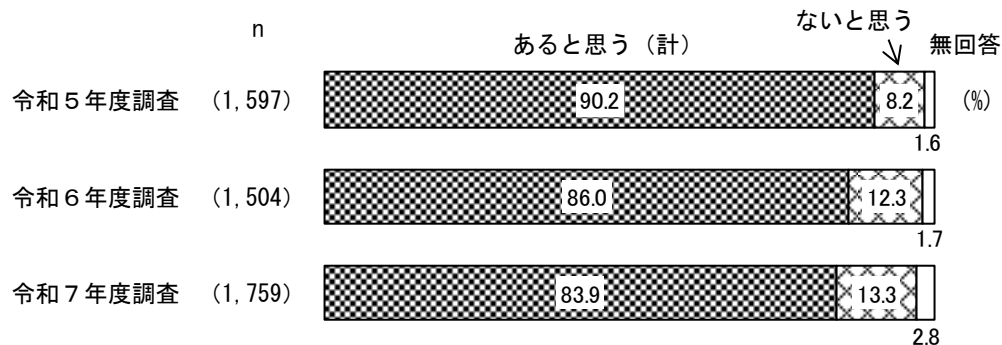
<図表 I－6－1>障害を理由とする差別や偏見の有無



障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」（31.9%）と「少しはあると思う」（52.0%）を合わせた『あると思う（計）』（83.9%）は８割台半ばとなっている。

一方、「ないと思う」（13.3%）は１割を超えている。（図表 I－6－1）

〔参考〕令和５年度・６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別でみると、『あると思う（計）』は“海匠地域”（97.1%）が約10割で高くなっている。

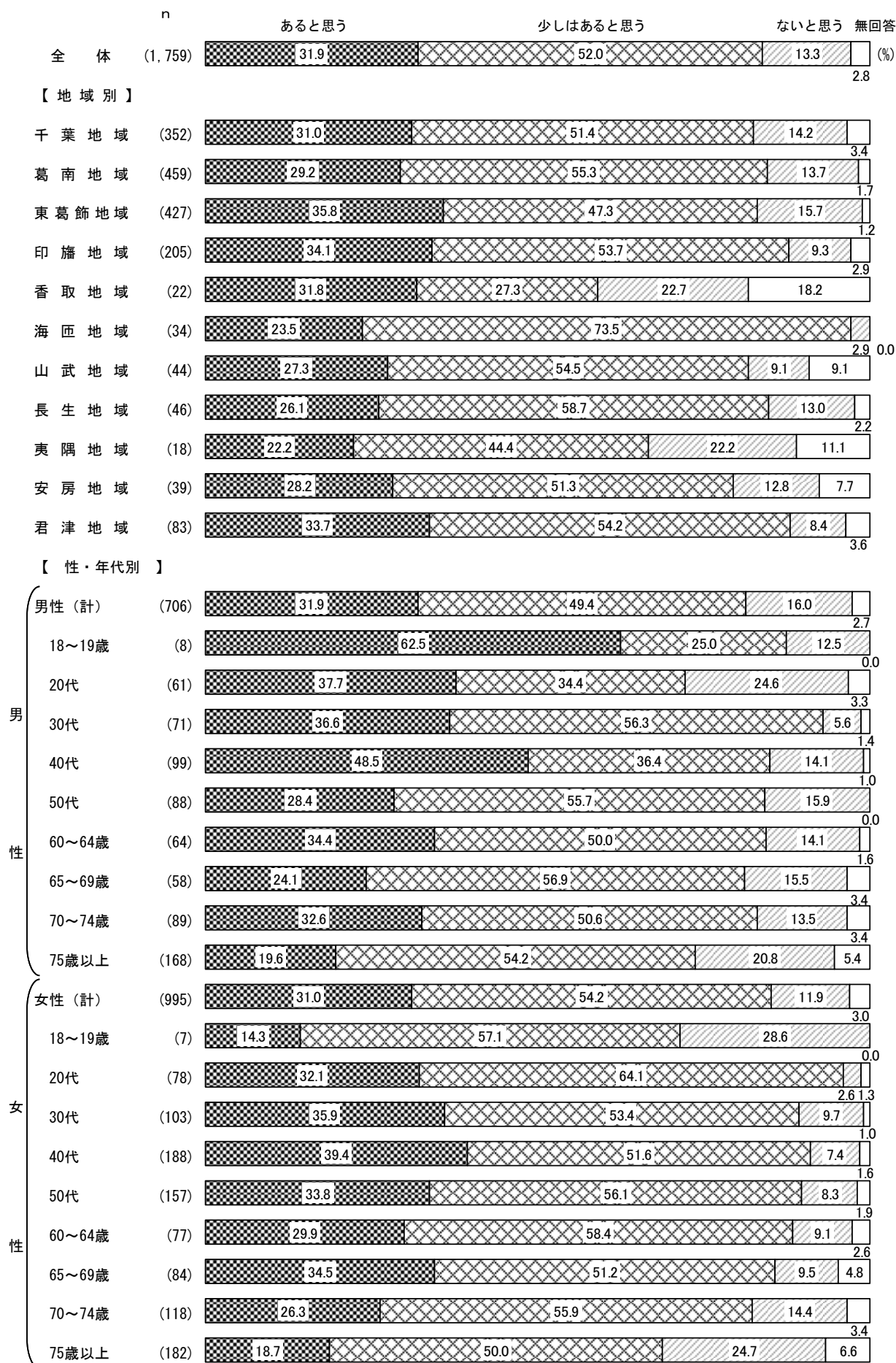
（図表 I－6－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『あると思う（計）』は女性の20代（96.2%）が９割台半ば、男性の30代（93.0%）と女性の40代（91.0%）が９割を超え、女性の50代（89.8%）が約９割で高くなっている。

一方、「ないと思う」は、女性の75歳以上（24.7%）と男性の20代（24.6%）が２割台半ば、男性の75歳以上（20.8%）が２割で高くなっている。（図表 I－6－2）

＜図表Ⅰ－６－２＞障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別



（２）障害を理由とする差別や偏見がある場面

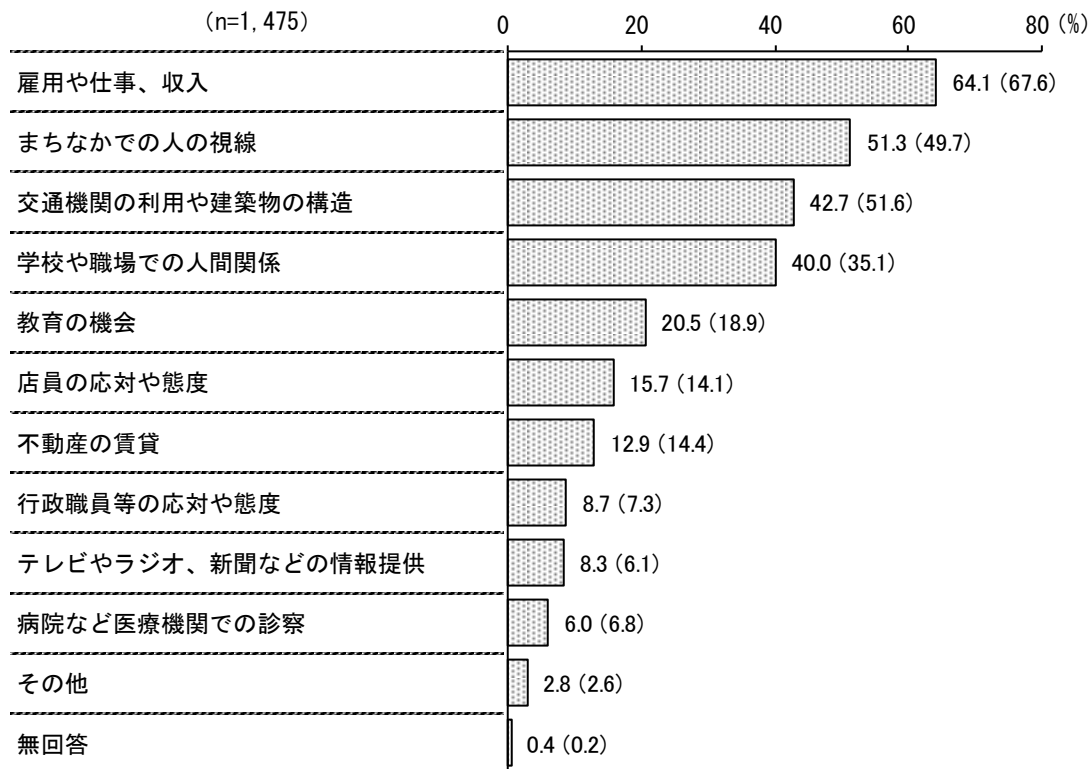
◇「雇用や仕事、収入」が６割台半ば

（問10で「あると思う」、「少しはあると思う」のいずれかをお答えの方に）

問10－１ あなたは、どのような場面で障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

（○はいくつでも）

＜図表 I－6－3＞障害を理由とする差別や偏見がある場面（複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,294

障害を理由とする差別や偏見があると回答した1,475人を対象に、その場面を聞いたところ、「雇用や仕事、収入」（64.1％）が６割台半ばで最も高く、以下、「まちなかでの人の視線」（51.3％）、「交通機関の利用や建築物の構造」（42.7％）、「学校や職場での人間関係」（40.0％）が続く。

（図表 I－6－3）

【地域別】

地域別にみると、「学校や職場での人間関係」は“東葛飾地域”（44.8％）が４割台半ばで高くなっている。（図表 I－6－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「雇用や仕事、収入」は男性の70～74歳（75.7％）が７割台半ばで高くなっている。

「交通機関の利用や建築物の構造」は男性の70～74歳（59.5％）が約６割、女性の70～74歳（55.7％）と女性の65～69歳（54.2％）が５割台半ばで高くなっている。（図表 I－6－4）

＜図表Ⅰ－６－４＞障害を理由とする差別や偏見がある場面（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）

